

「原水爆禁止2014年世界大会」へのメッセージ

広島・長崎に原爆が投下されて69回目の夏を迎えました。

世の中から戦争をなくし、真の恒久平和を実現することは、人類すべての願いであります。

我が国は世界で唯一の核被爆国であり、私たちはあらゆる機会を通じて戦争の悲惨さ、そして核兵器の廃絶、世界平和の実現を世界に訴えてまいりました。しかし、戦争を直接体験された方々がお亡くなりになるなど、戦争の悲惨な記憶が徐々に風化して行くことが懸念されております。今こそ、平和の大切さを再認識し、核兵器のない平和な世界の実現に向け決意を新たにしなければなりません。

また本市は、2009年10月に、世界の都市が連帯し、核兵器廃絶を進めることを目的とした「平和市長会議」に加盟いたしました。世界では、核の保有問題をめぐり、ますます核兵器廃絶の声が広がっております。このような状況下で、これからも核兵器のない平和な世界を実現するため、皆様とともに歩んでまいりたいと思っております。

私たちの願いが世界中に届き、核兵器の廃絶、そして世界平和が一日も早く実現することを心より祈念申し上げまして、挨拶とさせていただきます。

下関市長 中尾友昭